

< 声明 >

原子力発電コスト過小評価に異議 原発事故損害費用は桁違い！

内閣府・原子力委員会の「原発・核燃料サイクル技術等検討小委員会」は25日、「福島第一原発事故を踏まえ」原発で重大事故が起きるリスク（事故リスク）をコストに反映させると電力1kWhあたり1.2円上昇するとの試算が示された。

しかしこの試算の前提となる今回の福島原発事故の損害費用見積りは5兆5000億円としている。これは事故の損害のうち東京電力による賠償が現在決まっている最低限の額に過ぎず、損害費用が「評価」されているとは言えない。eシフト（脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会）は、以下の理由からこのリスクコスト評価の前提に異議を申し立てる。エネルギー・環境会議はこの「原発発電コスト1.2円増」という結果を「コスト評価」の前提として用いるべきではない。もしこの結果が用いられる場合、今後の原子力発電に関するコスト評価の議論は著しく歪められるだろう。

1. 福島原発事故の損害費用見積り約5兆5000億円は、10月3日現在明らかになっている東京電力による損害賠償額を参照しているにすぎず、除染費用（1）、放射性廃棄物処理等の行政費用、自主避難および汚染地域に残っている人への賠償費用（2）、晩発性障害への賠償費用等が含まれていないものである。
2. 廃炉費用についても、福島第一原子力発電所1～4号機の廃炉費用の追加分として約9,600億円としているが、事故収束・廃炉の見通しも未だ立っていない中で、最低限の見積りに過ぎない。
3. 上記を正當に「評価」すれば、委員会参考資料に提示されている48兆円をも大きく上回る損害費用が容易に想定され、約5兆5000億円とは少なくとも1桁以上の乖離がある。さらに、福島第一原発事故被害の全容はいまだに明らかになっておらず、試算できない社会的・環境的損害をも考慮すれば、48兆円という額でさえ、全体の損害の一部を表しているにすぎない（3・4）。

1：環境省は、追加放射線量年間1mSv以上の地域で除染を行うとしており、その除染費用は莫大な額に上ることが予想される。委員提出資料でも、広域除染費用は28兆円と推計されている。

2：原子力損害賠償紛争審査会第15回（10月20日）にて、自主避難者および汚染地域に残っている人への賠償についても認められる方向性が示されている。同審査会第14回（9月20日）資料に明らかにされているだけで、福島県からだけでも約3万6千人が8月末現在で自主避難している。

3：被曝防止措置や晩発性障害なども考慮する朴勝俊（「原子力発電所の過酷事故に伴う被害額の試算」『国民経済雑誌』191巻3号、2005年）によれば、過酷事故の損害費用は平均で62兆円、最悪の場合には279兆円に上るとされている。

4：エネルギーシナリオ市民評価パネルは、事故コストについて、損害費用が48兆円の場合16円/kWh、279兆円の場合93円/kWhになると試算している。

別添：エネルギーシナリオ市民評価パネル「エネルギー費用に関する評価報告書」補論1



eシフト（脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会）:

2011年3月11日の福島第一原発事故を契機に、脱原発と自然エネルギーを中心とした持続可能なエネルギー政策を実現させることを決意した、団体・個人の集まりです。

- 1 「事故被害の最小化」と「責任所在の明確化」
 - 2 「脱原発と持続可能なエネルギー政策に向けた政策提言づくり」と「その実現」
 - 3 「市民への有益な情報発信」と「社会的ムーブメントの巻き起こし」
- の3つの分野で活動を展開しています。

さまざまな団体の立場の違いを乗り越え、お互いの長所を活かしながら、本当に豊かで安心できる持続可能な社会を作るための大きなうねりとなっていくことを目指しています。そのため、固定的な組織体ではなく、緩やかなネットワークによる活動母体として機能していきたいと思っています。なお、現在までに下記の団体・個人が参加しています。

（参加 団体）

国際環境 NGO FoE Japan / 環境エネルギー政策研究所 (ISEP) / 原子力資料情報室(CNIC) / フクロウの会 (福島老朽原発を考える会) / 大地を守る会 / NPO法人日本針路研究所 / 日本環境法律家連盟 (JELF) / 「環境・持続社会」研究センター (JACSES) / インドネシア民主化支援ネットワーク / 環境市民 / 特定非営利活動法人 APLA / 原発廃炉で未来をひらこう会 / 気候ネットワーク / 高木仁三郎市民科学基金 / 原水爆禁止日本国民会議 (原水禁) / 水源開発問題全国連絡会 (水源連) / グリーンアクション / みどりの未来 / 自然エネルギー推進市民フォーラム / 市民科学研究室 / グリーンピース・ジャパン / ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン / フリーター全般労働組合 / ピープルズプラン研究所 / ふえみん婦人民主クラブ / No Nukes More Hearts / A SEED JAPAN / ナマケモノ倶楽部 / ピースポート / WWF ジャパン (公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン) / GAIA みみをすます書店 / 東京・生活者ネットワーク / エコロ・ジャパン・インターナショナル / メコン・ウォッチ / R 水素ネットワーク / 東京平和映画祭 / 環境文明 21 / 地球環境と大気汚染を考える全国市民会議 (CASA) / ワーカーズコープ エコテック / 日本ソーラーエネルギー教育協会 / THE ATOMIC CAFE / 持続可能な地域交通を考える会 (SLTc) / 環境まちづくり NPO エコメッセ / 福島原発事故緊急会議 / 川崎フューチャー・ネットワーク / 地球の子ども新聞